

## 「まちを視る」奈良市 ならまち FW 議事録

日時・場所	平成21年5月16日(土) 14:00~17:20 奈良市 ならまち界限
参加者	友田、鎌田、松島、余川、大戸、岡村、伊藤、山部、中井、金澤、道下、小山、若元、茂福、梶 (計15名)
テーマ	中・近世の風情が残る歴史都市「ならまち」の魅力
視察場所 案内等	近鉄奈良駅 ⇒ 興福寺五重塔 ⇒ 猿沢池 ⇒ 奈良町情報館 ⇒ 元興寺 (入館) ⇒ 奈良町資料館 ⇒ 庚申堂 ⇒ 奈良オリエント館 ⇒ ならまち 振興館 ⇒ ならまち格子の家 ⇒ 春鹿酒造 (利き酒) 案内: UR都市機構 関西文化学術研究都市事業本部 吉田様
記録者	茂福隆幸(寝屋川市)
説明内容	<p>① 地区の概要</p> <p>◇奈良市 面積約276.84㎡、人口365,805人(H21.5.1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・奈良県の北部一帯を占める広域市で、奈良盆地の北端</li> <li>・東大寺や春日大社などの国宝建造物が「古都奈良の文化財」として世界遺産リストに登録された。</li> <li>・奈良のシンボルは奈良公園に生息する国の天然記念物の「奈良シカ」であり、1000年以上前から春日大社の神鹿として神聖視され保護敬愛されてきた。</li> <li>・来年は平安遷都1300年祭りをひかえ、キャラクターの「せんとくん」が有名になり観光に力を入れている。また、今年の3月20日には阪神なんば線が開通し、神戸方面からのアクセスも便利になった。</li> </ul> <p>◇「ならまち」 行政地名ではなく地区の通称名であり、元興寺の旧境内を中心とした地域。奈良時代の平城京の区画のうち東部につき出た外京にあたる場所に位置する。平城京遷都以来まちづくりが始まり、宗教都市から商業都市そして現在は観光都市として栄えてきた。</p> <p>② 歴史、風土</p> <p>◇奈良市</p> <p>710年に飛鳥の藤原京から都が移され平城京が築かれ70年間日本の都と</p>



元興寺で説明を受ける参加者

して栄えた。最盛期は人口約10万人にもなったが、京都に都が移った後は、社寺の町として栄えた。13世紀には商業や手工業が栄え、一時は武家の支配下に置かれたが、江戸時代は幕府の直轄領として蚊帳・晒・酒・筆・墨・刀・団扇などの特産品に富んだ産業都市となった。江戸時代中頃は観光の町として栄えたが、明治維新には一旦沈滞した。明治4年には奈良県になったが9年には廃止され、その後、堺県や大阪府に属したが、明治20年に再び奈良県が再設置され、明治31年に市制が施行された。



ならまち格子の家

◇「ならまち」

平城京に都が遷された時、飛鳥の法興寺（飛鳥寺）が元興寺として平城京に移され、この元興寺の旧境内を中心に郷として栄える。

都が長岡京に移ったのちは東大寺や興福寺などの社寺が残ったことにより宗教都市として栄え、鎌倉時代には寺の保護のもと商業や手工業が発達し町民の政治経済力が大きくなる。江戸時代には産業の町として目覚ましい発展を遂げ、中頃からは寺や神社に参詣する人が増え門前町としての性格が明確になった。

現在も社家が並ぶ社家町や江戸末期から明治にかけての町家の面影を残す観光の町として多くの人を訪れる。

③ まちの特徴

◇江戸時代末期から明治時代に建てられた町家残り、他にも銭湯や酒・米・お茶・薬・砂糖など昔から変わらない店構えの老舗や、町家を利用したカフェやブティックなどのおしゃれな店が立ち並んでおり、古い建物と新しいものがうまく調和された独特の街並みを創り出している。



町家を利用した店舗(FM放送局)

◇間口の広さにより税金が決められていたので、間口が狭く奥行ききの深い細長い敷地や住宅が多い。

◇まちのいたる所に、古い町家を利用した無料の見学場所やコミュニティの場所を設け、観光客に対するサービスが充実している。

◇市民による自主・自立のまちづくりを行っており、典型的な民間主導、行政支援型のまちづくりを実施。

#### ④ まちづくりの活動（コミュニティ）

##### ◇まちづくり活動の経過

- ・1979年 奈良地域社会研究会発足  
奈良町シンポジウム、フェスティバル開催
- ・1984年 (社)奈良まちづくりセンター設立  
奈良町の歴史的街並みを残すため、市民主体の社団法人格を取得
- ・1988年 奈良市町並み保存補助事業開始
- ・1989年 ならまちセンター開館
- ・1990年 奈良市都市景観条例制定
- ・1992年 ならまち賑わい構想制定、ならまち格子の家開館  
(財)ならまち振興財団設立  
ならまちセンターなど6館の管理運営事業を行う
- ・1994年 都市景観形成地区の指定（面積約48.3ha）  
音声館開館
- ・1995年 ならまち振興館開館
- ・1998年 元興寺が世界遺産登録

##### ◇奈良市都市景観形成地区建造物保存整備事業

- ・地区内の建物などの位置・構造・外観の意匠などについて「景観形成基準」を定め、地区内での建物の新築・改築・増築・外観の修繕・模様替え色彩の変更などを行なう場合は届出をしてもらい、市が基準に基づき助言・指導を行なう。
- ・伝統的建造物の外観を維持又は伝統的形成に基づき復元修理する場合の事業、又は、景観形成基準に適合し、かつ周囲の景観の質を高める建築物などの新築や増改築に対して設けられた事業において、市が指定した道路に面する建築物、門、塀等の仕上げにかかる費用に対し補助金を交付する。



FW(まち歩き)の風景

<p style="text-align: center;">意見・課題</p>	<p>◇間口が狭く奥行ききの深い細長い敷地が多く、個々の敷地では建築が困難と思われる。今の街並みを活かしながら、新たな道路の築造や区画の整理等が必要。</p> <p>◇地区内の道路は比較的狭隘であり、一方通行や通行規制などを行い、観光客の通行を優先する必要がある。</p> <p>◇来年度は平安遷都 1300 年祭りが開催され、観光客が増加すると思われるが、継続的な観光客の確保が必要である。</p> <p>◇お茶・薬・砂糖など昔ながらの店舗の後継者の育成が課題である。</p>
<p style="text-align: center;">提言</p>	<p>◇歴史遺産や、最近の店舗を掲載した詳しいマップと解説書があれば便利である。</p> <p>◇銭湯や旅館等の建替えにおいて、街並みにマッチした景観形成への誘導が重要である。</p> <p>◇ボランティアガイドの充実とPRが望まれる。</p>



参加者全員で利き酒



FWの風景(案内人の吉田氏から説明を聞く)